



学校通信 赤坂小だより

令和7年度 第11号 R7.7.18

北九州市立赤坂小学校

校長 大成 清徳

「新しい自分」と出会う夏 冒険する夏休みに

◎例年より早い梅雨明けで、暑い日が続いています。熱中症への対応に気を付けながら過ごした前期前半も、今日で終了です。保護者の皆様には、今日まで本校の教育活動にご理解とご協力を賜り、感謝申し上げます。お陰様で、子どもたちは「みんなが A(エース)」の合言葉を胸に、一人一人が勉強に運動に、係活動や校外学習などの様々な活動に主体的に取り組み、心も体も大きく成長しました。

明日から8月25日まで、待ちに待った夏休みが始まります。自由に過ごせる時間がたっぷりの38日間です。規則正しい生活を心がけ、元気に過ごしてほしいと思います。また、勉強でも運動でも、趣味でも家の手伝いでもよいので、今まであまり積極的に取り組まなかったことにチャレンジして、「新しい自分」を発見するための冒険をしてみませんか。一回り成長した姿で、前期後半を迎えられることを期待しています。

また、各地で水難事故や交通事故により子どもの命が失われるという事案も発生しています。くれぐれも、安全・安心を最優先に考えて、命を守る行動を心がけてほしいと思います。

前期後半は、**8月26日(火)**から始まります。元気に登校してくれることを、職員一同、心から願っています。

家庭・地域で過ごす 夏休みの心得

◎本日、全校放送で、生徒指導主任から『夏休みの過ごし方』について話をしました。

特に ■海や川など、水の事故に十分注意すること ■熱中症予防に努めること

■交通ルールを守り、安全に気を付けること ■お金や物の貸し借りをしない等、赤坂小のきまりを守ることなどの注意がありました。児童に配布した「たのしい夏休み」の内容について、ご家庭でご確認ください。

また、市民プール等の施設で危険な行為や迷惑行為をしないよう、保護者の皆様からお子様にお声掛けください。万が一、トラブルが起きた場合は、保護者の方でご対応いただきますようお願いいたします。

近年、SNS などによるトラブルに子どもたちが巻き込まれ、被害にあうケースが各地で起きています。7月15日(火)に5,6年生を対象に行った『スマホ教室』では、「スマホで『消えてゆく時間』を考えながら使っていますか?」との問いかけに始まり、自分のためになることに使うようお話がありました。スマホは、誰かを笑いものにしたり、嫌な気持ちにさせるためのものではありません。スマホを通して出会った人に、写真や動画、個人情報などを安易に送ると、世界中にばらまかれたり、脅されたりするリスクもあります。お子様のスマホ利用については、ご家庭で使い方のルールを決めて、十分気を付けていただきたいと思います。

◇『学校閉庁日』について◇

◎ 夏季休業中には、例年と同様に、下記の通り学校閉庁日が設けられます。

<期間> 8月12日(火)、13日(水)、14日(木)、15日(金)

<閉庁日の対応>

学校において電話等によるお問い合わせの対応を行いません。

上記期間中は、教育委員会にお問い合わせをお願いします。

<閉庁日のお問い合わせ先>

◇児童生徒に関すること 教育委員会生徒指導課 ☎ 582-2369

◇学校施設に関すること 教育委員会施設課 ☎ 582-2361

◇その他学校運営に関すること 教育委員会教職員課 ☎ 582-2372

保護者アンケート ご協力のお礼

◎4月から現在までのお子様の様子や、学校の教育活動について、保護者の皆様にアンケートのお願いしたところ、多くの方にご回答いただきました。皆様からの回答を基に、成果と課題を分析し、今後の学校運営に生かしていきたいと考えています。紙面をお借りして、お礼を申し上げます。ありがとうございました。

☆学びを深める～ゲストティーチャーをお招きして

【4年生】命を大切に～思春期健康教室

○7月14日(月)、助産師の折田 亜弥香様をお招きして、命の大切さと思春期の健康な過ごし方について講話をしていただきました。

その中で、私たちが、この世に生まれてくるまでの過程や、成長するまでにどれだけ多くの人に関わっているのかなどのお話を伺いました。「命を大切にすることは、毎日を一生懸命過ごすこと。そして、自分を好きになること」というメッセージを受け取り、一人一人がかけがえのない大切な命であることを学びました。今、生きていることに感謝して、自分と同じくらい周りの人を大切に思う気持ちを持ちたいですね。



《かけがえのない命を大切に》

- ◎人を頼っていい…他者への依存度は、赤ちゃん=100%、子ども=50%。大人に頼っていいんです。
- ◎違いを認め合い、高め合おう…男女の性差があるのは当たり前。互いに相手を尊重することが大切。
- ◎プライベートゾーンを大切に…簡単に人に見せない、触らせない、写真を撮らない・渡さない。
- ◎地球に命が誕生したのは…約38億年前。受精から誕生するまで、進化の歩みを一気にたどる。
- ◎命のはじまりは小さな受精卵…色紙に針で開けた穴くらいのごく小さな大きさ。
- ◎あなたのご先祖は何人?…約200万人!誰一人欠けても、あなたという存在はなかった。
- ◎私たちが生まれた確率は…「1400兆分の1」という奇跡的な確率で生まれてきた。
- ◎生まれてから今日までサポートしてくれた人…約50人の大人があなたの命を守り育てる手助けをした。

【5年生】未来のためにできること～ロシナンテス講話②

○7月4日(金)に引き続き、NPO 法人「ロシナンテス」の川原佳代様からお話を伺いました。今回は、アフリカの工芸品も持参していただき、手で触れてみる事ができました。今回は、水や学校など、日本とあまりに違うアフリカの現実に目を見張りました。同じ国に住む人同士が争う内戦が続き、生活が一瞬で崩れ去る恐ろしさ、苦しい現実の中で、希望を失わずに立ち上がろうとする人の姿など、写真や映像を交えてお話していただきました。お話の最後に、2つのキーワードを5年生に伝えていただきました。



- ① 「当たり前」：私たちが当たり前と思っているモノや事柄は、多くの人の思いが重なって今に至っている。それらは一瞬で失われることもある。それを守り続けることが大切です。
- ② 「これから」：日本に生きる私たちには、様々なチャンスがある。日本や世界の未来を明るいものにするために、平和が永遠に続くように、私たち一人一人にできることを考え、実行してほしい。

5年生は、今回も川原さんのお話を真剣な眼差しで聞いていました。今回の学習を通して、自分たちの豊かさを見つめ直し、世界の中で、苦境に生きる人々に思いをはせ、自分にできることを考えてほしいと思います。

北九州市では例年7月を平和学習月間として、各学校で平和に関する学習を行っています。本校でも、平和について考える週間に各学級で学習を行いました。本日の校長からの話の中でも、戦争や平和について触れています。この8月は、太平洋戦争終結から80年目の夏を迎えます。ご家庭でも、平和の大切さや戦争の悲惨さについてお子様と語り合っていたいただければと思います。

市内には平和を考える施設として「平和のまちミュージアム」や「北九州平和資料室 TICO PLACE」があります。夏休みに訪れてみませんか？

《8月の主な予定》

- 26日(火) 前期後半開始日 ※11:35 頃下校予定
- 27日(水) 給食開始日 ※14:25 頃下校予定
- 28日(木) 5時間授業 ※14:55 頃下校予定
- 29日(金) 給食後下校・職員研修 ※13:30 頃下校予定